

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
社会福祉法人松風会 デイ きらり		令和7年 3月 27日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	指導訓練室2室合わせて79.82㎡あります。身体を動かす時には、芝生広場で思いっきり動かしています。	引き続き、安心・安全な環境作りを心がけていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準を満たす配置を行なっています。	外出や行事の際は、利用人数により職員の配置を増員することを検討します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	事業所内はバリアフリーに配慮した設備となっています。遊具や工作用具など収納する場所を決め、子ども達がいつでも使用できるようにしています。	引き続き、わかりやすく過ごしやすい環境となるように配慮していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	学校の宿題などをする時には、静かな環境で出来るように机などの配置にも配慮しています。	引き続き、心地よく過ごせる環境に配慮していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	子ども達はどの部屋（場所）も使えるようにしています。	個別の部屋はありません。引き続き子ども達の行動が把握できるようにしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	3	ミーティングの時間は設けていませんが、少しの時間を利用して話しています。	週初めや活動前後に話し合うようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	保護者向けアンケートを元に保護者の方の意見を聞き、結果を職員で共有しています。	内容を共有するだけでなく、業務改善に繋がるように努めたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	4	日々、気付いた事を話し、業務に繋げています。	必要に応じて機会を設けていますが、定期的にこなすようにしたいと思っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	第三者評価の実施はありません。保護者の方の評価と事業所内評価により業務改善を検討しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	県主催の研修計画を参照し参加しています。また、法人内での研修にも参加できるように努めています。	引き続き職員の資質向上に努めます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5	職員の意見などを聞きながら作成します。	支援プログラムの作成が遅れています。作成後公表します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	2	相談支援事業所とも連携し、情報を共有し子どもと保護者のニーズや意向を汲み取り作成しています。	引き続き、利用開始時の面談や保護者の送迎時での会話、日々の様子からニーズを汲み取り計画を作成していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	3	放課後等デイサービス計画を作成する際には、日頃の関わりの様子や職員間での会話の中からも計画に反映することがあります。そのため計画に沿った支援が行えていると思います。	職員間での共通理解や共有が、充分とは言えませんので、作成の段階から職員間での意見などをもっと反映していきたいと思っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	3		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3	利用開始前のアセスメントや面談、日々の子どもの行動や保護者との会話の中からも確認しています。	引き続き、アセスメントを活用し適応行動の状況を確認していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	3	保護者や本人の意向をくみ取り、日々の行動などの様子から支援内容を設定しています。	引き続き、子どもの特性や発達状況を踏まえ、5領域に関する具体的な支援内容を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	年間の行事計画を作成しています。それを元に季節に合わせた活動内容を工夫し、楽しめる内容と	1ヶ月の予定や行事など細やかな計画を作成できていない部分があるので、

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	なるようにしています。 職員間でアイデアを出しながら取り組んでいます。	職員間で話し合いながら進めています。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	3	一日の過ごし方の中で個々の好む活動を取り入れながら、集団活動へと繋がるようにしています。	一人ひとりの発達に応じ、個々の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れていきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	支援開始前、終了後に打ち合わせを行い、当日や次の日の予定を確認しています。子どもの様子などの気付きを確認し、その内容を記録しています。記録だけでなく、職員間で共有し次の支援に繋がるようにしています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	3	6ヶ月に1回モニタリングを行い、サービス計画の見直しを行なっています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	3	それぞれの子どものに合った活動、好む活動に配慮しながら支援を行っています。	「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇支援」それぞれ単体の支援になりがちであるため、好む活動に取り組みながら組み合わせを工夫します。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	遊具や工作用具など収納する場所を決め、子ども達がいつでも使用できるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	児童発達支援管理責任者、担当者など適任者を選んで出席しています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	4	保護者より病院受診時の様子や結果などを聞いたりし、情報を得ています。	必要に応じて体制を整えています。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	保護者や学校へ子どもの様子を聞くなどし、情報共有を図っています。下校時間の変更、送迎時間の調整などは運転手との連絡を密にするように努めています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	情報を共有する場合は、保護者の同意を得るようにしています。	必要に応じて情報共有を行なっていると考えています。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3	現在学校を卒業した子どもはいません。今後卒業された場合は、必要に応じて情報提供等をする事ができます。	わからない1名
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	児童発達支援を利用している利用者の情報などは、必要に応じて共有したいと思います。	現在、専門機関との連携がほとんどない状況です。機会があれば研修など受けることを考えています。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	法人内の子ども園と障害者入所施設との合同運動会などに参加する機会を設けています。 また、法人内での文化祭に子ども達が制作した作品を出品しています。	一部の子どもは学童を併用しているのですが交流はあると思いますが、全体として活動する機会がありません。今後の検討課題です。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	島原市子ども部会へ管理者が出席しています。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	保護者の送迎の時間や電話などで伝えるようにしています。必要に応じて個別に相談の時間を設けています。	話しやすい相談支援体制を整えていきます。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	子どもの状況や家族からの相談に対し、情報提供を行っています。	家族に対しての研修の機会は行っていませんが、引き続き相談や、子どもに対する対応などの情報提供を行っています。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2	契約時に説明しています。不明な点があれば随時説明するようにしています。	わからない1名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保 護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	放課後等デイサービス計画作成する際には、子どもや保護者の意向を確認し、意思を尊重した計画を作成しています。	わからない1名
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		放課後等デイサービス計画の作成後は保護者へ説明を行い同意を得ています。	わからない1名
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	希望に応じ相談を受け付けて、時間を設けて対応しています。面談などの時間については、家族の予定にできるだけ合わせるように努めています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	交流する機会は設けていませんが、時間の都合がつかれる時には、いつでも来所され、子どもの様子や保護者同士で話をされるができます。	保護者会等は発足していませんが、お茶会などを開催し、保護者の意見を聞いたり、保護者同士の親睦を図るよう検討したいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	2	苦情受付、担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。苦情について内容を職員で共有し、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するように努めています。	引き続き、迅速な対応に努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	月1回の通信を発行し、日頃の子どもの様子や行事などを記載しています。	引き続き、通信の発行は継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報には充分配慮しています。契約時に写真の撮影、掲載、学校との情報交換について同意をもらっています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	学校への迎えの際に、学校での様子や支援について、情報を共有するようにし、子どもの状態に合わせた対応に配慮しています。保護者の方とは送迎の時間を利用してコミュニケーションを図るようにしています。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	事業所の行事ではなく、法人の行事（文化祭）に子どもの作品を出品しその成果を見てもらっています。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	マニュアルはいつでも閲覧できるように事業所内に準備しています。	マニュアルについては、必要に応じて確認、見直しを行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	業務継続計画（BCP）は策定しています。定期的（年4回）に避難訓練を行っています。	法人内で年1回研修と見直しを行っています。職員への周知を図ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1	契約時に、事前調査票に記載してもらっています。必要に応じて聴き取りも行なっています。	わからない1名 予防接種については確認していませんでした。今後確認していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		どの程度のアレルギーなのか、どのような症状があるのかを詳しく確認しています。	わからない1名 指示書がある場合は職員間での周知を図ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	園内外の安全点検（設備や環境）を定期的に行っています。	安全計画は毎年見直しを行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3	契約時や放課後等デイサービス計画の内容の説明を行う際に、説明していきます。	家族への説明が不十分な所もあるので機会を作り、説明したいと考えます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例があった場合は、報告書に記載し、ミーティングにて事実確認と共有、今後の対策を協議しています。	子どもの行動を常に把握し、事故防止に繋げていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	虐待防止担当者や外部研修へ参加した職員を中心に、事業所内での研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	2	利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことにしています。虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を設置し、定期的開催しています。	わからない1名 現在対象児童はいません。対象児童がいる場合は、放課後等デイサービス計画に記載する体制を作っていきます。